

# 普段利用されるボランティア拠点

## ～鹿児島から解決していく空き家問題～

### ・コンセプト

私が空き家問題について考えているときに、テレビから耳にしたのはニュースの災害支援ボランティアのことです。

近年毎年のように日本各地で起こる自然災害！つい先日も九州やここ鹿児島での豪雨があり避難所への経路が移動困難であったりキャパオーバーであったりボランティアが行き届かないなどの問題がありました。

そこで全国で問題になっている空き家問題と全国で起こりうる自然災害で必要になる避難所や、ボランティアの問題をまとめて解決する案として空き家を身近な避難所やボランティア活動の拠点として全国に広がる活用方法とし、鹿児島から考え変えていきたい。

また、災害時だけでなく普段からボランティアの場として活動を行える地域に身近な場所をつくりたい。

### ・作品の所在地

鹿児島県内各自治体の地震や土砂崩れ、河川の氾濫などのハザードマップで比較的安全な空き家  
\*各自治体につくり連携した活動を期待するため鹿児島県各所に想定します。

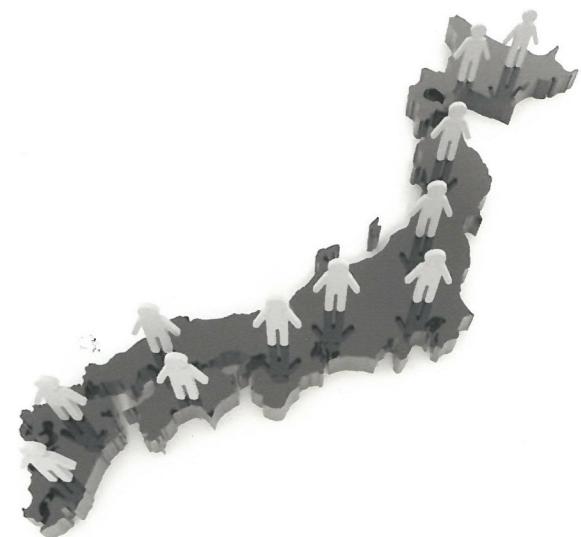


### ・活用案

各自治体に存在する空き家を地域毎に1つボランティアの人が活動を行える拠点として、また災害時のご近所避難所としてつくる案です。ボランティア団体と拠点を登録する。

各市町村に登録した拠点が存在することで他の地域のボランティアの人が来ても登録していることでいつでも利用できることがボランティア活動のしやすさ向上に繋がると考えられる。

登録した拠点が鹿児島から九州、そして全国へと広がることで災害時の連携が取りやすく全国の空き家問題の解決に繋がるのではないかと考えられる。



### ・地域への効果

普段から日常的に他の地域からボランティアの人が来ることで地域同士の繋がりや交流をはかれる。自分たちの住んでいる地域にボランティア団体があり活動していることの宣伝に繋がりボランティアに興味が生まれた人があつまりやすくなる。